

千葉市感染症発生動向調査情報

2018年 第45週 (11/5-11/11) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		45週	44週	43週	42週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	4	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	11/5-11/11	10/29-11/4	10/22-10/28	10/15-10/21	10/29-11/4
			45週	44週	43週	42週	44週
小児科	RSウイルス感染症		2 0.11	1 0.06	2 0.11	3 0.17	28 0.21
	咽頭結膜熱		1 0.06	3 0.17	1 0.06	3 0.17	52 0.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		40 2.22	40 2.22	38 2.11	19 1.06	270 2.00
	感染性胃腸炎	○	100 5.56	78 4.33	66 3.67	60 3.33	414 3.07
	水痘		1 0.06	2 0.11	1 0.06	0 0.00	25 0.19
	手足口病		16 0.89	27 1.50	30 1.67	29 1.61	143 1.06
	伝染性紅斑		9 0.50	9 0.50	17 0.94	12 0.67	84 0.62
	突発性発しん		9 0.50	8 0.44	6 0.33	14 0.78	28 0.21
	ヘルパンギーナ		4 0.22	1 0.06	5 0.28	8 0.44	25 0.19
	流行性耳下腺炎		0 0.00	0 0.00	1 0.06	3 0.17	11 0.08
	インフル		6 0.21	5 0.18	10 0.36	8 0.29	39 0.18
眼科	急性出血性結膜炎		1 0.25	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎	○	8 2.00	7 1.40	13 2.60	2 0.40	20 0.57
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.56
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患(7件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	80歳代	画像検査	アメーバ赤痢	男性	40歳代	病原体の検出
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出	百日咳	男性	10歳未満	抗体の検出
結核	女性	30歳代	IGRA検査	風しん	男性	50歳代	病原体遺伝子等の検出
結核	女性	50歳代	病原体の検出等	-	-	-	-

* 第45週は、結核4件(151)、アメーバ赤痢1件(2)、百日咳1件(195)、風しん1件(77)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第45週のコメント

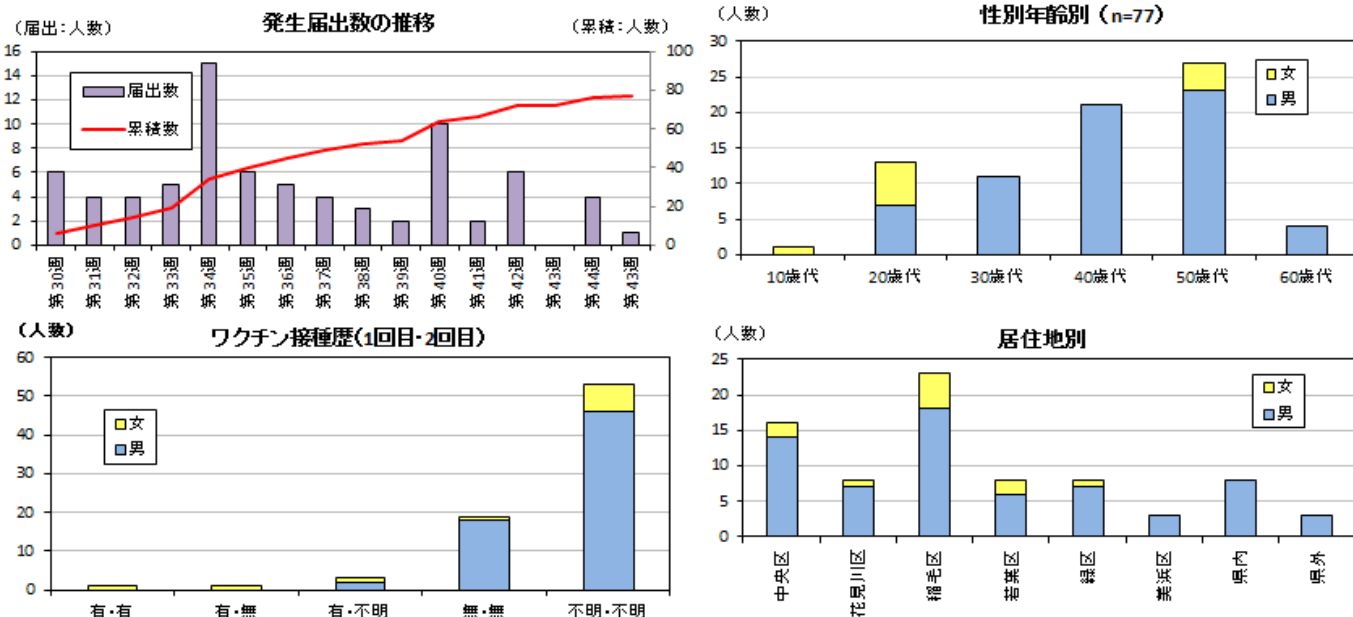
＜感染性胃腸炎＞前週より増加し5.56となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ例年並み。例年の発生動向によると、今後増加する傾向が高い。

＜流行性角結膜炎＞前週より増加し2.00となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

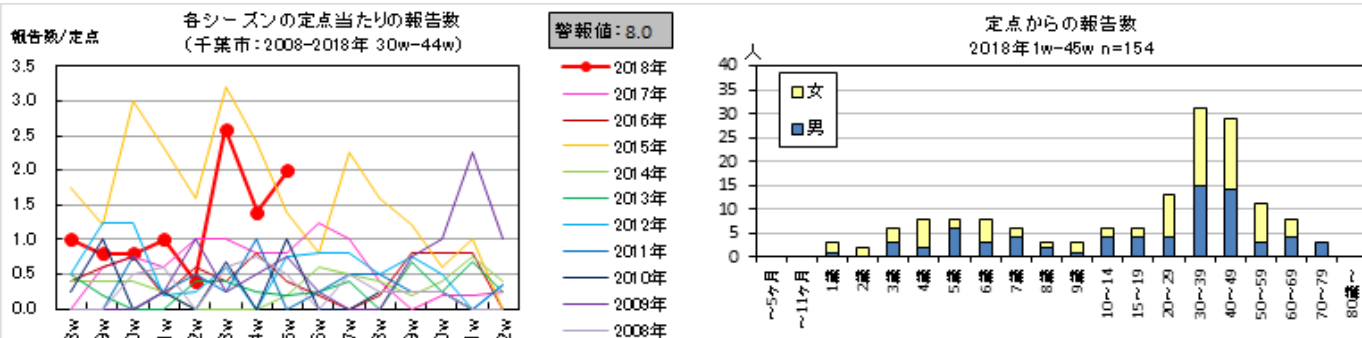
<風しん>

全国レベルの第44週の累積報告数は1884件で、昨年の同時期と比べると23倍を上回っています。都道府県別では東京都、千葉県、神奈川県の前で多く報告されており、関東地域で多く発生しています。千葉市の第45週は1件の発生報告があり、2018年の累計は77件となっています。性別は男性が85.7% (66名)、女性が14.3% (11名) で、年齢階級別は、50歳代 (35.1%:27名)、40歳代 (27.3%:21名)、20歳代 (16.9%:13名) の順で多く、40歳代~50歳代の男性が中心となっています。居住地別では、稲毛区 (29.9%:23名)、中央区 (20.8%:16名) の順に多くなっています。患者におけるワクチン接種歴は、無し又は不明が9割を超えています。



<流行性角結膜炎>

全国レベルの第44週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では宮崎県、鹿児島県、愛媛県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多くなっています。千葉市の第45週は前週より増加し2.00となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は美浜区 (5.00/定点) で最多で、同区の30歳代及び40歳代で多く発生報告がありました。2018年第1週から第45週の累積報告数は154件で、性別では男性が47.4% (73名)、女性が52.6% (81名) で、年齢階級別では30歳 (20.1%:31名)、40歳 (18.8%:29名)、20歳 (8.4%:13名) の順で多くなっています。



<感染性胃腸炎>

全国レベルの第44週は、過去10年の同時期と比べるとやや少なめとなっています。都道府県別では福岡県、大分県、宮崎県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市では第43週から連続して増加しており、第45週は5.56となりました。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルです。例年の発生動向では、今後増加する傾向があります。区別の発生状況は稲毛区 (9.67/定点) で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から第45週の累積報告数は652件で、性別では男性が58.7% (383名)、女性が41.3% (269名) で、年齢階級別では1歳 (16.6%:108名)、2歳 (13.8%:90名)、6~11か月 (13.7%:89名) の順で多くなっています。

